

がん患者の就労支援に関する情報提供依頼書・診断書(情報提供)の使い方

1 どんな場合に利用するのか

この様式は、がん患者さんが働きながら治療を続けたり、休職から復職する時に、治療と仕事が両立できるように、企業と医師が互いの情報を共有するために利用するものです。

2 利用の仕方

- ① 会社の担当者もしくは産業医が、復職・就労継続支援に関する情報提供依頼書に必要事項を記入し主治医に提出します。
 - 会社の担当者が記入する場合は別添1の様式
 - 産業医が記入する場合は別添2の様式を使用してください。
- ② 提出された情報をもとに、主治医は、復職・就労継続支援に関する診断書(情報提供)に記入し、会社の担当者もしくは産業医に回答することが出来ます。診断書料については、医療機関にお問い合わせください。
- ③ 別添1・2の情報提供依頼書を提出の際は、会社の担当者もしくは産業医は、従業員本人が今後会社でどのような業務に就きたいかなど、本人の仕事に関する希望についても必ず確認してください。

この様式の使用にあたっては、情報提供依頼書を提出し、診断書(情報提供)で回答をもらう形式を想定していますが、その他診断書(情報提供)にかわって病院の発行する診断書を使用するなど、使いやすい方法でご利用ください。

また、情報提供依頼書・診断書(情報提供)に関する疑問やお気づきの点がありましたら、下記までご連絡いただければ幸いです。

◆千葉県健康福祉部健康づくり支援課がん対策班

メールアドレス : cantaisaku@mz.pref.chiba.lg.jp